

より良い地球環境の実現と継承のため、環境経営を推進し、商品および事業活動を通じた環境保全に取り組みます

2008年度	2008年度の状況	2009年度
注力ポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化防止策の推進 ● 製品の環境対策強化 ● ビジネスに貢献する環境マネジメントの推進 ● 環境マネジメントの改善と効率化 ● 内部環境監査の改善と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● OKIグループの省エネルギー目標を達成 ● REACH規則適合を目的とした推進体制、運用基準などの構築 ● 環境製品の拡販、広域認定制度の活用 ● ISO14001統合認証範囲の拡大 	注力ポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化防止策の拡充 ● 省エネルギー商品の創出 ● 製品含有化学物質管理体制の定着、改善 ● 環境マネジメントの改善 ● 環境コンプライアンスの強化

OKIグループの環境マネジメント

OKIグループは、「OKIグループ環境方針」のもと、より良い地球環境の実現をめざし、グループ全体で柔軟かつ効率的にマネジメントを行う「**全社ネットワーク型環境経営**」を推進しています。「商品を通じた環境への貢献」「事業活動における環境保全への貢献」「社会の環境活動への貢献」を重点テーマに「OKIエコ・プラン21」を策定し、中期目標および年度目標を定めて取り組みを推進しています。

OKIグループ環境方針

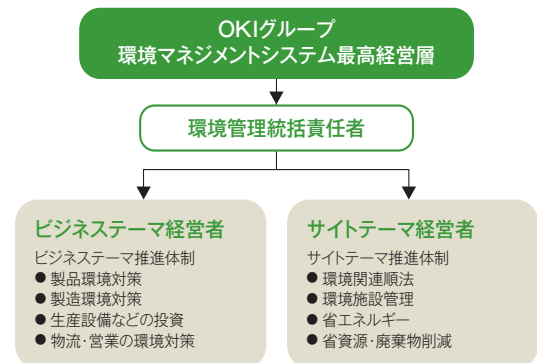
OKIグループは、e社会の実現に寄与する商品の提供を通じて、次の世代のために、より良い地球環境を実現し、それを継承する。

- 1 全社ネットワーク型環境経営の実行により、施策効果の最大化を目指す。
 - 商品の企画から製造・保守運用に至るまでの業務プロセスにおいて、環境配慮型商品とサービスの提供に取り組む。
 - 事業活動において、省資源・省エネルギーに努め、廃棄物の削減に取り組む。
- 2 適用される環境法令、条例及び同意する顧客要求等その他の要求事項を順守し、汚染の予防に努める。
- 3 環境マネジメントシステムのPDmCA (Plan-Do-multiple Check-Act) を的確に実行し、環境パフォーマンスの向上と運用システムの継続的な改善に取り組む。
- 4 環境に関する情報の開示に努めるとともに、環境活動支援を通じて、広く社会に貢献する。

全社ネットワーク型環境経営

OKIグループが推進する「**全社ネットワーク型環境経営**」は、**サイトテーマ**（拠点活動）と**ビジネステーマ**（事業経営活動）を縦横に組み合わせ、グループ全体でマネジメントするものです。これにより、環境活動の各テーマについて、リソースの選択と集中、技術と情報の共有を進め、環境負荷の少ない商品の創出と環境経営の最適化を図っています。

◎ サイトテーマとビジネステーマによるマネジメント



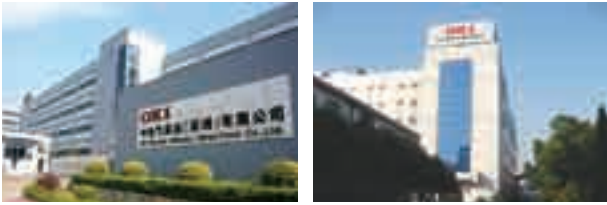
◎ 全社ネットワーク型環境経営の概念図

テーマ 部門等	商品環境負荷低減活動			拠点環境負荷低減活動		
	低消費電力	含有化学物質管理	グリーン調達	地球温暖化防止	廃棄物削減	環境コミュニケーション
環境マネジメントシステム経営層	↓	↓	↓	↓	↓	↓
情報処理機器部門	↑	↑	↑	↑	↑	↑
通信機器部門				↑	↑	
プリンタ部門				↑	↑	
生産部門		↑	↑	↑	↑	
サービス・物流部門				↑	↑	
サイト・支社部門				↑	↑	↑

↓ 経営層方針 ↑ 個別テーマ ↑ 部門およびサイト横断テーマ

全社統合環境マネジメントシステムの適用拡大

OKIグループは、全社ネットワーク型環境経営の一環としてISO14001統合認証の取得を進め、全社統合環境マネジメントシステムの適用範囲を拡大しています。2008年度は、前年度に続いて中国のグループ企業2社が加わり、中国の主要生産拠点の環境マネジメントシステム統合が完了しました。これにより、化学物質情報の収集や各国規制への適合性について、設計・開発から購買、生産、出荷まで、業務プロセス全体を通しての一元管理がいつそう強化されました。



新たにISO14001統合認証に加わった沖電気実業(深圳)有限公司(左)と沖電気通信科技(常州)有限公司

Topics

環境マネジメントシステム 11年継続賞を受賞

OKIグループは2009年3月、長年にわたり環境マネジメントシステムの認証取得、拡大に取り組んできたことにより、日本環境認証機構(JACO)より、11年継続賞と記念品を授与されました。



OKIエコ・プラン

環境活動計画「OKIエコ・プラン21」の2008年度における主な活動項目と実績は、表に示すとおりです。

OKIエコ・プラン21(2008年度版)目標と実績

	分類	活動項目	2011年度目標	2008年度目標	2008年度実績		
					結果	評価	参照ページ
商品	製品含有 化学物質の抑制	化学物質マネジメント強化 (RoHS指令・REACH規則対応) (その他化学物質規制対応)	REACHなどに適合した 新CMS*定着・改善	CMS構築・強化	RoHS対応は適合性向上の ための運用改善、REACH 対応も体制構築に着手	○	16 17
			REACH対応情報システ ムの運用改善	REACH対応情報システ ム検討・開発・試行運用	システムの 試行運用開始	○	
事業活動	地球温暖化 防止	事業活動における エネルギー起源CO ₂ 排出量 削減 (高効率機器の導入・運用の見 直し) (その他施策適用)	オフィス 総量 -1%以上 (過去5年度平均比)	総量 -1%以上 (過去5年度平均比)	総量 -8.6%	○	10 11 35 39 43
			工場 原単位 -2%以上 (過去5年度平均比)	原単位 -2%以上 (過去5年度平均比)	原単位 -8.9% (絶対量 -7.8%)	○	
	資源循環化	生産活動サイトにお ける廃棄物の削減 (ゼロエミッション維持・継続)	継続	継続	ゼロエミッションを 維持	○	35 39 43
	環境影響 化学物質の抑制	環境影響化学物質の 排出量または取扱量の抑制 (2010年度までに2000年度 比-30%以上削減)	運用管理へ移行	対策検討・計画策定	対策検討中	△	43
環境経営	環境 マネジメント システムの 強化	全社ネットワーク型 環境経営の推進 (国内外システム適用範囲拡大 検討・実施)	国内外適用拡大・ 次年度計画検討	国内外適用拡大・ 次年度計画検討	海外：2サイト拡大 国内：拡大サイトなし	△	32 33 42
	環境 コンプライ アンスの強化	社外への環境 コンプライアンスの 理解向上	第三者監査実施 (対象製品拡大)	サプライヤ行動 規範制定	環境関連の 行動規範完了	○	35 42

* CMS : Chemical Management System

商品を通じた環境への貢献

OKIグループは、製品に関する環境活動として「低消費電力化」、「有害化学物質の排除」、「省資源化(小型軽量化など)」に積極的に取り組み、環境配慮型商品を提供することで環境負荷の低減に貢献していきます。

低消費電力化、軽量化を実現した KIOSK端末「SUKIT」

「SUKIT(スキット)」は、操作性、機能性に優れたKIOSK端末※で、空港での自動チェックインのほか、各種情報検索、受付予約、ポイント管理など、お客様のニーズに合わせたさまざまなシチュエーションでの利用が可能です。また、豊富なオプションユニットを準備して拡張性の向上を図りつつも、従来の自動チェックイン端末製品と比較して消費電力を30%、質量を38%それぞれ削減しました。RoHS指令にも対応するなど、環境に配慮した製品です。

※ KIOSK端末：いつでも・どこでも・誰でも気軽に立ち寄り情報やサービスを手入できる、セルフサービス情報端末。



KIOSK端末「SUKIT」

交通機関利用によるCO2排出を抑制する ビデオ会議システム「Visual Nexus」

ビデオ会議システム「Visual Nexus」は、高画質なHD映像※・音声・データ共有通信により同時に複数の遠隔拠点を接続し、会議や打ち合わせ、研修を可能にします。本システムを導入し、遠隔地間を移動する回数を削減することで、交通機関利用によるCO2の排出を抑制し、同時に移動時間や出張交通費の削減など、企業活動の効率化とコストダウンを図ることができます。また、お客様のパソコンを本システムの端末として用いることから、導入コストの削減に加えて、システム全体の消費電力を抑えることができます。

※ HD映像：従来のアナログ方式の映像規格に比べて2倍以上の走査線、解像度を持つ映像規格。Visual Nexusは最大1980 x 1080ピクセルの1080Pに対応している。



ビデオ会議システムの活用イメージ

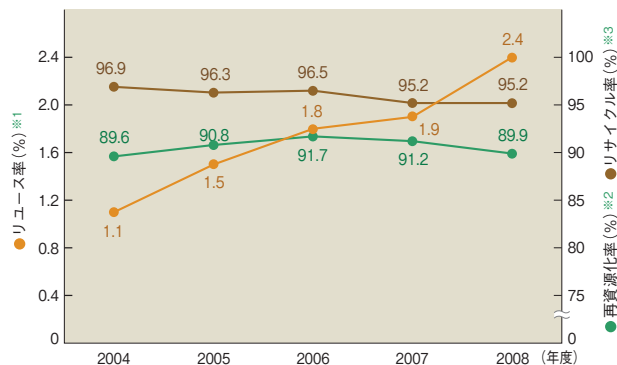
関連情報：主な環境配慮型商品はp44-45をご覧ください。

使用済み製品のリサイクル

OKIは環境省より2006年6月に取得した「産廃広域認定制度」※を積極的に活用し、リサイクルの向上に取り組んでいます。対象となる産業廃棄物は使用済み情報通信機器およびプリンタで、全国各地で回収された製品は、OKIが認定した処理委託先でリサイクル処理されます。また、セキュリティに考慮して独自の手順を構築し、お客様に安心を提供しています。2008年度の使用済み製品の回収量は、ATM(現金自動預払機)などの情報機器を中心に2,556トン(前年度比70%増)で、再資源化率は回収量の多い関東地区において89.9%(前年度比横ばい)でした。

※ 産廃広域認定制度：廃棄物の減量とその適正処理やリサイクルが確保されることを目的として、製品などの製造者が都道府県の区域を超えて廃棄物の処理を行うことができる廃棄物処理法の特例制度。

使用済み製品のリサイクル実績



※1 リユース率：回収された使用済み製品のうち、リユースされた割合(質量)。

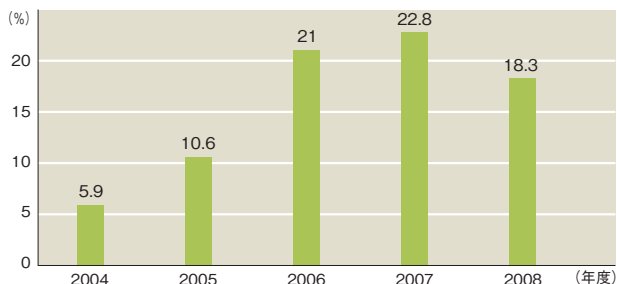
※2 再資源化率：回収された使用済み製品のうち、マテリアルリサイクルおよびリユースされた割合(質量)。

※3 リサイクル率：回収された使用済み製品のうち、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルおよびリユースされた割合(質量)。

プリンタサプライ商品のリサイクル

OKIカスタマードテックは、プリンタ用トナー/ドラムカートリッジなどのリサイクルに積極的に取り組んでいます。2008年度は販売数量のうち、リサイクル商品率が18.3%と減少しましたが、今後もリユース・リサイクル商品の販売に取り組んでいきます。

リサイクル商品率の推移



事業活動における環境保全への貢献

OKIグループは事業活動における環境負荷低減策として「温室効果ガスの排出量削減」「省資源・リサイクル活動」「環境リスクの低減」に積極的に取り組んでいます。

英国工場の全電力をグリーン電力に切り替え

英国の生産拠点OKI(UK) (以下OUK)では、2008年10月より全電力を自然エネルギーで発電するグリーン電力に切り替え、CO₂総排出量の85%にあたる年間1,930トン



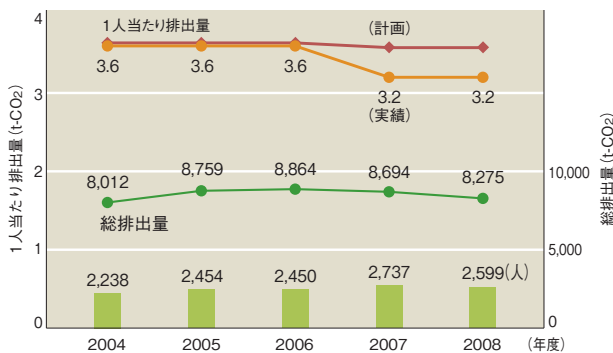
英国生産拠点OUK

を削減します。OUKでは、2011年度までに、欧州内22ヶ所の販売拠点もグリーン電力に順次切り替え、年間2,120トンのCO₂排出量を削減する計画です。

「彩の国エコアップ宣言」の継続的取り組み

埼玉県蕨市のOKIシステムセンターでは、2002年から埼玉県条例による「彩の国エコアップ宣言」により、CO₂および廃棄物の削減に継続的に取り組んでいます。同センターの活動計画では、2005年度比で毎年-1%/人の目標値を設定し、空調の稼働時間制御、通路蛍光灯の間引きなどに継続的に取り組んだ結果、2007、2008年度は2年連続で目標値を大幅に上回りました。2009年度は目標値を引き上げ、さらなる削減活動に取り組めます。

「彩の国エコアップ宣言」の取り組みによるCO₂排出量削減効果



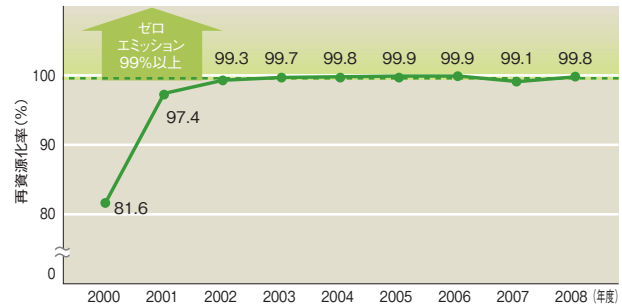
再資源化の推進(ゼロエミッション)

OKIグループは、1996年から再資源化率^{*1}の向上に取り組んでいます。2002年には、主要生産拠点においてゼロエミッション^{*2}を達成し、2008年度は、再資源化率99.8%とな

りました。今後も廃棄物削減活動に取り組み、ゼロエミッションを継続していきます。

^{*1} 再資源化率：再資源化量/(再資源化量+最終処分量)×100
^{*2} ゼロエミッション：OKIグループは、再資源化率99%以上をゼロエミッションと定義。

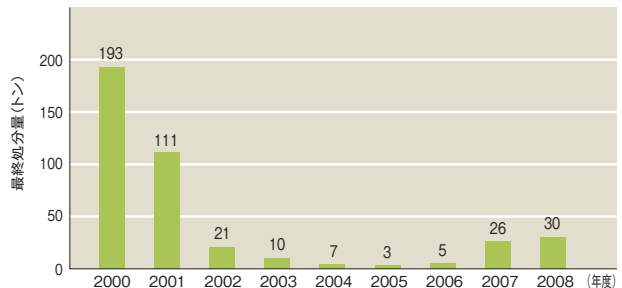
主要生産拠点の廃棄物再資源化率推移



廃棄物最終処分量

OKIグループの2008年度の主要生産拠点から排出される産業廃棄物と一般廃棄物を合わせた廃棄物最終処分量は30トンとなりました。

主要生産拠点の廃棄物最終処分量推移



地下水汚染・土壌汚染

OKIグループでは、全生産拠点で観測ポイントを設置し、定期的に地下水の監視を実施しています。現在、敷地内の一部観測ポイントで環境基準を若干上回ることが確認された本庄地区においては、関係自治体の指導・助言を受けて適切に修復処置を実施しています。2008年度は、基準値の逸脱や新たな土壌・地下水汚染は発生していません。

罰則・クレーム

2008年度、環境に係る罰則や重大なクレームは発生しておりません。これらの事象が生じた場合には、原因を究明し再発防止策を実施し、適切な処理を行っています。